

2015 年 忘年会：二日目

2015年12月6日（日）

Report by 小野寺（御用邸見学）、熊本（他）

駿河健康ランドの二日目は多少雲があるが晴れている。

少なくとも午前中は、暖かく富士山も綺麗に見られそうだ。



客室から眺めた駿河湾の日の出（6:47）と朝陽を浴びた富士山

7時から朝食（バイキング）で腹ごしらえをして9時に450室に集合し、精算して二日目の活動を開始



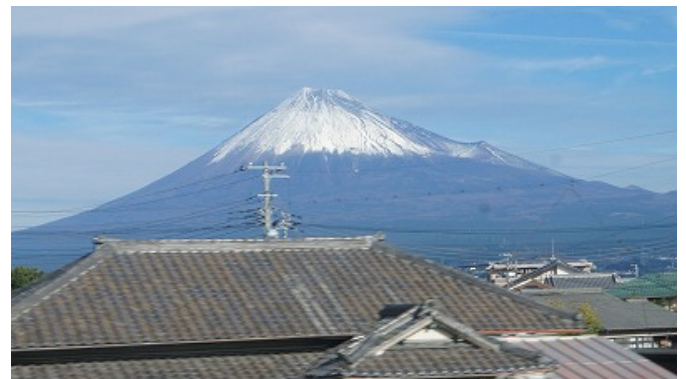
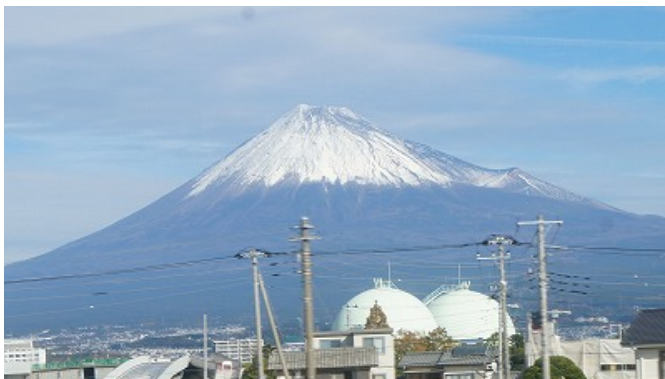
9:30 発の無料送迎バスで興津駅に向かう



興津駅ホームで登り電車 熱海行（9:49）の電車に乗る。



今日も富士駅近くで見る富士は綺麗だ。



10:36 に沼津駅で下車。

沼津駅で、沼津御用邸見学メンバーと香貫山ハイクのメンバーに別れて、それぞれの目的地に向かった。

香貫山ハイクは高橋雄さんをリーダーに他 7 名が参加し 2 台のタクシーで香陵台登山口に行った。
駅からタクシーで 10 分チョットの近さで登山口に着く。



登山口の近くには五重塔（戦没者慰霊塔）があり、その更に北方向に富士山がある。



登山口から少し登ると、沼津市街地から富士山への展望が開ける。

写真左から石井さん、根岸さん、吉松さん、高橋雄さん、川島さん、中島さん、堀さん、熊本



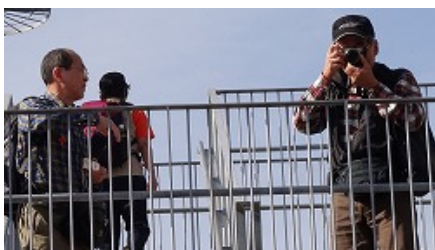
この山は 200mに満たない展望の良い山というより丘に近く、沼津市民の憩いの場、ウォーキングコースとなっているのだろう。トイレや水飲み場が随所に設置されていた。更に 10 分ほど登ると・・・



香貫山山頂から展望台へと続き、展望台から見た富士山と沼津市内



香貫山（193m）の山頂に到着（11:05）し、写真を撮って展望台に向かう





展望台下で記念写真を撮り（11:20）、ゴルフ練習場へ下り、タクシーで沼津港へ向い、12:00 に到着した。
一方、沼津御用邸見学チームは小野寺さんをリーダーに 10 名がバスで沼津駅を後にした。



後列左から、半澤栄子さん・伊能さん・山田さん・岡部由紀さん・小野寺・半澤淳一さん
前列左から、山川さん・布目さん・塩野さん・小山さん

JR 沼津駅からバスで約15分「御用邸前」下車（290 円）。

昭和20年7月14日未明の空襲で沼津市内は 90%を焼失したそうで、御用邸も本邸がなくなったそうですが、正門部分は、明治26年当時のままとか。さっそくそこで、パチリ☆



「沼津御用邸記念公園」は敷地面積約 15 万㎡。昭和 44 年まで皇族が別荘としてご利用だったそうです。

翌 45 年 3 月に、もうご利用できなくなるということで、今上天皇（当時明仁殿下）と美智子様がお別れにいらしたニュース映像を覚えていらっしゃる方もあるかもしれません。

奥に見える破風屋根が観覧できる西付属別邸。



入園料 100 円。公開されている西附属邸内部の観覧込で 400 円。せっかくなので、400 円コースで(^^)

現在は沼津市管理とのことで、一部の部屋には現代作家の美術品の展示もされています。



明治開国以来、皇族お住まいの「御所」は、海外来賓への見栄(?)もあってか、徹底した洋風建築(現在の迎賓館(大正天皇)や庭園美術館(朝香宮))ですが、別荘にあたる「御用邸」は、いずれもほとんど和風建築。やはり心からお寛ぎになるには畳が一番?

その中でも、謁見の間や、左のような畳×絨毯の洋風のお部屋もいくつかあります。

左のソファ生地はフランス・リヨン産の金華山織り。置いてある什器がいちいち美術品です。



鍵隠しや襖の取っ手も“工芸品”です。



平成改修の際のドイツ製の手作りガラス。日本には、もう職人がいないそうです。



沼津垣。駿河湾に面して西風が強いので防風になるそうです。箱根竹を十数本ずつ束ねて杉綾模様で編んでいます。



少し外の空気を吸ったらもう1時間経ち、沼津へ戻る時間。
茶店や海岸散歩道など2〜3時間は楽しめそうな、よいところでした。

12:20 に新鮮館入口ホールで集合し、双葉寿司で昼食だ。



各自、好きなお寿司をオーダーする。



寿司が来る前に、ビールや徳利が並ぶ

「地魚にぎり」を知らなかった！頂戴！イヤイヤ！



満腹のお腹を抱えて、港の屋外市場にそれぞれ、お目当ての土産魚を爆買しに走りまわり、新鮮館ホールに集まる



沢山のお土産をザックに詰めて、生臭い匂いを振りまきながら、
14:40 バスで沼津駅へ向かい帰路に着きました。

二日間とも天候に恵まれ終日、秀麗富士を拝み、桜えび蕎麦を堪能し、夜は美味しいお酒と軽妙な会話、
20周年記念イベントの説明、翌日は御用邸公園、香貫山ハイク、そして絶品のお寿司で満腹と・・・
充実した二日間を過ごすことができました。
忘年会企画の高橋雄さんと事務局の皆様方の努力、有難うございました。